

正 会 員 各 位

(一社) 全国LPガス協会

国の審議会（資源・燃料分科会）における資料等について  
（お知らせ）

標記審議会が下記のとおり開催され、その資料が経済産業省ホームページに掲載されましたので、お知らせいたします。

なお、誠に恐縮ではございますが、同資料につきましては容量が大きいことから添付しておりませんので、下記ホームページよりご確認くださいませようよろしく願いいたします。

記

【経済産業省ホームページ】

○資源・燃料分科会(第41回)：令和6年6月7日(金)開催

[https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/shigen\\_nenryo/041.html](https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/shigen_nenryo/041.html)

〔主な審議内容〕

令和3年10月に第6次エネルギー基本計画が策定されました。

この度、次期(第7次)エネルギー基本計画の策定に向けて議論が開始されました。

会議では、GXの加速と次期エネルギー基本計画の見直しや、カーボンプライシングの制度設計につなげていくことで、今後の進め方について議論が開始され、今回は資源・燃料の安定供給確保、GX実現に向けた対応、今後の資源・燃料政策の課題について議論が行われました。

LPガスについては、供給体制の確保として災害対応強化に向けた取組として災害バルクの導入、LPガス販売事業者の人手不足解消、配送業務効率化等に向けた支援策、さらには、商慣行是正に向けた取組状況、LPガスの国家備蓄、グリーンLPガスの導入に関する取組み状況について経済産業省から提示がなされました。

なお、本分科会には全L協から村田専務理事がオブザーバーとして参加いたしました。

#### 【村田オブザーバーの主な発言】

次期エネルギー基本計画の策定にあたり、いわゆるS+3E（エスプラススリーイー）の大原則を引続き前提とした議論が進められるべきである。

LPガスは優れた特性があり、化石燃料として熱量が高い割にはLNGとほぼ遜色がない相対的にクリーンなエネルギーであることや災害に強い分散型エネルギーであり、今年元日に発生した能登半島地震においても、その強みを発揮したところである。

また、中東依存度が低く、地勢学的リスクの低いエネルギー安全保障上も極めて優れたエネルギーであり、国民生活に不可欠な基本インフラである。それを引続き維持するべく、グリーントランスフォーメーションの一環として、2050年グリーンLPガスへの切替あるいは配送合理化等生産性向上について政府の支援を仰ぎつつ努力していきたい。

こういったことを配慮していただき、次期エネルギー基本計画においての位置付けをお願いしたい。

なお、長年の課題とされた商慣行の是正については、本年4月2日に公布された改正省令のもと、制度改正に即した取組みを業界として着実にを行い、引続き消費者に選択されるエネルギーとなるべく対応して参りたい。

以 上

発信手段：Eメール

担当：保安・業務グループ 宍戸、岩田